

## ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 開催結果概要

ぎふ清流国体推進局

### 1. 両大会への参加

#### ○ 開会式・閉会式・競技会への参加

- ・開会式、閉会式及び競技会に、約100万人の方々が参加され、先催県の平均約78万3千人を大きく上回った。
- ・その要因としては、半世紀ぶりに開催する国体への県民の想いが、今年1月に開催した冬季大会の成功を契機として、県内各地域に拡がり、結果的に県下全域で盛り上がりを見せ、9月から開催したぎふ清流国体本大会、ぎふ清流大会へと繋がったことが考えられる。
- ・また、平成24年をスポーツイヤーとして進めてきたが、96人のロンドンオリンピック選手（エントリーは107人）、19人のロンドンパラリンピック選手の参加、また、会期前に開催された水泳競技会における世界新記録の樹立などにより、注目を集めたことがあげられる。
- ・大会期間中には、高校生や大学生をはじめ、延べ約23,000人のボランティアによる開・閉会式運営や競技運営に関する活動が行われた。

(1)ぎふ清流国体 875,932名

① 総合開会式 (単位:人)				② 総合閉会式 (単位:人)			
			人数				人数
1	選手団	選手・監督等	5,376	1	選手団	選手・監督等	1,624
		小計	5,376			小計	1,624
2	大会関係者	大会役員	256	2	大会関係者	大会役員	80
		式典・演技出演者	9,685			式典・演技出演者	4,062
		実施本部員	1,380			実施本部員	822
		ボランティア	1,354			ボランティア	649
		その他式典・警備・輸送業務員等	3,998			その他式典・警備・輸送業務員等	2,455
		小計	16,673			小計	8,068
3	観覧者	特別招待者・一般招待者・一般入場者	12,087	3	観覧者	特別招待者・一般招待者・一般入場者	7,824
		都道府県応援団	2,100			都道府県応援団	2,074
		報道員	352			報道員	181
		視察員	216			視察員	44
		小計	14,755			小計	10,123
合計			36,804	合計			19,815

③ 競技会 (単位:人)			
			人数
1	正式競技	冬季大会 2競技	64,928
		本大会 37競技	709,375
		小計	774,303
2	公開競技	2競技	32,096
3	デモンストレーションとしてのスポーツ行事	26行事	12,914
合計			819,313

## (2)ぎふ清流大会

109, 109名

① 開会式 (単位:人)			② 閉会式 (単位:人)				
		人数			人数		
1	選手団	選手・監督等	4,508	1	選手団	選手・監督等	5,001
		小 計	4,508			小 計	5,001
2	大会関係者	大会役員	270	2	大会関係者	大会役員	199
		式典・演技出演者	4,262			式典・演技出演者	755
		実施本部員	1,754			実施本部員	1,546
		ボランティア	2,036			ボランティア	2,048
		その他式典・警備・輸送業務員等	2,555			その他式典・警備・輸送業務員等	1,940
		小 計	10,877			小 計	6,488
3	観覧者	特別招待者・一般招待者・一般入場者	6,031	3	観覧者	特別招待者・一般招待者・一般入場者	5,602
		都道府県応援団	1,779			都道府県応援団	1,809
		報道員	145			報道員	75
		視察員	261			視察員	110
		小 計	8,216			小 計	7,596
合 計			23,601	合 計			19,085

③ 競技会 (単位:人)		
		人数
1	正式競技 14競技	65253
2	オープン競技 3競技	1170
合 計		66,423

## (3) ボランティア

(単位:人)

活 動	人 数	備 考
ぎふ清流国体	11,948	市町村ボランティア含む
ぎふ清流大会	10,682	
合計	22,630	

○県民による取組み

- ・炬火リレー、こよみぶねやギフとフラッグなどのワークショップには、約15,000人の方々が参加された。
- ・開・閉会式会場をはじめ、競技会場に手作りののぼり旗や花飾りなどが設置された。

◆炬火リレー リレー走者約8,000人（うち障がい者120人）

○全県下炬火リレー

実施日	7月16日～9月29日の間
リレー走者	約8,000人（うち障がい者120人）

◆ワークショップ 参加者6,352人（うち障がい者116人）

①こよみぶね

実施日	4月19日～7月7日の間
参加者	2,247人
参加市町	12市町

②ギフとフラッグ

実施日	4月28日～7月1日
参加者	4,105人（うち障がい者116人）
参加市町村	42市町村

◆文化プログラム

○岐阜県博物館

展示	①「岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展」 ②「飛騨・美濃の信仰と造形 古代・中世の遺産」
期間	①9月21日～11月4日 ②9月21日～10月28日
参加者	6,858人（うち両大会期間中 5,097人）

○岐阜県美術館

展示	「マルク・シャガールー愛をめぐる追想」
期間	9月5日～10月28日
参加者	25,337人（うち両大会期間中12,486人）

○現代陶芸美術館

展示	①「岐阜県ゆかりの人間国宝 ー美濃陶芸の系譜ー」 ②「MINO CERAMICS NOW Part2」
期間	①8月4日～12月24日 ②9月1日～11月11日
参加者	①4,474人（うち両大会期間中1,084人） ②2,665人（うち両大会期間中 979人）

◆その他主な県民の活動

- 都道府県・政令指定都市への歓迎のぼり旗の作成（県内26高等学校書道部）
- 都道府県・政令指定都市へのおもてなしメッセージボードの作成（県内30小学校）
- 都道府県応援団の設置（岐阜市内9小中学校の延べ7,500人）
- 都道府県・政令指定都市のぎふ清流大会全選手への応援メッセージカードの作成（県内36小学校3,600人）
- 開・閉会式会場、競技会場で花飾り
- 岐阜市の観光地や飲食店を紹介する「長良川もてなしマップ」10万部と、ミナモをデザインした「もてなし提灯」5,000張を作成（長良川もてなし隊1,300人）等

○宿泊

・大会期間中、延べ18万7千人の方々が県内に宿泊された。

(単位：人)

区 分	ぎふ清流国体	ぎふ清流大会	合計
選手団	132,394	23,944	156,338
選手団以外 (役員、特別招待者、 報道員等)	29,407	1,389	30,796
合計	161,801	25,333	187,134

※上記は、宿泊センターを通じて申込みがあったもの。

## 2. 岐阜県選手団の成績

### ○ぎふ清流国体 岐阜県選手団

- ・昭和40年の岐阜国体以来、2回目の天皇杯（男女総合優勝）・皇后杯（女子総合優勝）を獲得。
- ・競技別天皇杯（競技別男女総合優勝）は、過去最高タイの13競技で獲得。（今までの最高は、昭和40年岐阜国体において13競技の競技別天皇杯を獲得したのが最高。）
- ・目標とした3,000点を超える3,028.5点を獲得。
- ・3,000点の大台を超えた点数の獲得は、国体開催史上3回目。

### （1）ぎふ清流国体 男女総合成績（天皇杯）

順位	H17	岡山国体	H18	兵庫国体	H19	秋田国体	H20	大分国体	H21	新潟国体	H22	千葉国体	H23	山口国体	H24	岐阜国体	順位
1位	岡山	2,842.0	兵庫	3,179.0	秋田	2,673.5	大分	2,386.5	新潟	2,426.0	千葉	2,921.5	山口	2,220.5	<b>岐阜</b>	<b>3,028.5</b>	1位
2位	東京	2,283.0	埼玉	2,084.0	東京	2,092.0	東京	1,893.0	東京	1,910.0	東京	2,171.5	東京	2,053.5	東京	2,031.0	2位
3位	埼玉	1,967.5	愛知	1,750.0	埼玉	1,906.5	埼玉	1,878.5	大阪	1,767.0	神奈川	1,795.0	愛知	1,953.33	愛知	1,960.0	3位
4位	愛知	1,767.83	大阪	1,725.5	神奈川	1,735.0	神奈川	1,650.5	埼玉	1,739.5	埼玉	1,754.5	<b>岐阜</b>	<b>1,669.0</b>	埼玉	1,922.0	4位
5位	大阪	1,746.25	東京	1,724.5	兵庫	1,726.5	大阪	1,647.5	神奈川	1,643.0	大阪	1,629.5	大阪	1,633.0	大阪	1,594.5	5位
6位	京都	1,663.5	神奈川	1,685.0	大阪	1,542.5	千葉	1,569.0	千葉	1,589.5	愛知	1,578.5	神奈川	1,628.83	神奈川	1,490.0	6位
7位	北海道	1,508.5	北海道	1,504.5	愛知	1,455.5	兵庫	1,507.0	北海道	1,550.5	京都	1,443.0	千葉	1,612.5	千葉	1,444.0	7位
8位	兵庫	1,502.0	京都	1,394.5	千葉	1,436.0	愛知	1,502.5	愛知	1,530.33	兵庫	1,442.0	埼玉	1,546.5	京都	1,429.0	8位
9位	広島	1,437.0	千葉	1,373.0	京都	1,416.5	北海道	1,484.5	京都	1,507.0	福岡	1,437.0	広島	1,460.5	福岡	1,413.0	9位
10位	神奈川	1,414.33	秋田	1,330.0	北海道	1,408.5	福岡	1,452.5	兵庫	1,324.5	北海道	1,419.5	北海道	1,392.5	北海道	1,406.0	10位
11位	宮城	1,254.0	岡山	1,320.0	大分	1,300.5	京都	1,435.5	広島	1,248.5	<b>岐阜</b>	<b>1,302.5</b>	兵庫	1,341.5	兵庫	1,401.5	11位
12位	千葉	1,251.5	熊本	1,313.0	福岡	1,297.5	宮城	1,230.5	岡山	1,238.0	広島	1,266.5	福岡	1,341.5	広島	1,148.5	12位
13位	熊本	1,238.25	広島	1,291.0	宮城	1,247.5	広島	1,202.0	熊本	1,210.0	山口	1,230.5	京都	1,299.5	岡山	1,137.0	13位
14位	福岡	1,187.25	福岡	1,238.5	熊本	1,148.5	岡山	1,195.0	大分	1,209.0	岡山	1,164.5	岡山	1,272.0	静岡	1,103.0	14位
15位	香川	1,161.33	群馬	1,217.0	静岡	1,139.5	長野	1,155.5	宮城	1,201.5	長野	1,138.5	長崎	1,055.5	山口	1,066.5	15位
16位	群馬	1,149.5	大分	1,161.5	岡山	1,113.0	茨城	1,148.5	<b>岐阜</b>	<b>1,194.5</b>	新潟	1,097.0	山梨	1,012.0	群馬	1,052.0	16位
17位	富山	1,053.0	宮城	1,124.0	石川	1,106.0	<b>岐阜</b>	<b>1,144.0</b>	群馬	1,175.5	静岡	1,067.5	長野	983.5	長野	1,026.0	17位
18位	長野	1,050.0	<b>岐阜</b>	<b>1,098.0</b>	広島	1,093.0	新潟	1,129.0	長野	1,147.0	大分	1,039.0	熊本	972.5	栃木	1,005.5	18位
19位	静岡	1,045.0	長野	1,076.5	新潟	1,074.0	静岡	1,064.5	福岡	1,136.0	宮城	1,036.5	秋田	971.0	大分	955.0	19位
20位	大分	1,034.5	香川	970.5	<b>岐阜</b>	<b>1,071.5</b>	熊本	1,038.5	長崎	1,034.33	群馬	1,014.0	宮城	962.5	長崎	939.5	20位
21位	福島	1,016.5	静岡	964.0	群馬	1,051.5	佐賀	1,010.5	静岡	1,029.0	熊本	995.5	群馬	961.0	和歌山	934.5	21位
22位	<b>岐阜</b>	<b>1,006.0</b>	山形	959.0	栃木	1,032.5	群馬	1,009.0	石川	1,020.5	石川	966.0	静岡	959.0	新潟	933.0	22位
23位	秋田	971.0	石川	939.0	長野	1,007.0	秋田	991.5	茨城	995.33	茨城	954.5	佐賀	957.5	熊本	930.5	23位
24位	長崎	938.5	富山	935.0	福島	933.0	香川	989.5	香川	977.0	香川	947.0	大分	953.5	福井	916.0	24位
25位	鹿児島	936.5	奈良	931.0	茨城	907.0	石川	975.0	鹿児島	932.0	富山	943.5	愛媛	939.5	宮城	905.0	25位

(2) ぎふ清流国体 女子総合成績 (皇后杯)

順位	H17	岡山国体	H18	兵庫国体	H19	秋田国体	H20	大分国体	H21	新潟国体	H22	千葉国体	H23	山口国体	H24	岐阜国体	順位
1位	岡山	1,207.0	兵庫	1,366.5	秋田	1,148.0	大分	1,136.5	新潟	1,054.5	千葉	1,325.5	山口	1,089.5	<b>岐阜</b>	<b>1,460.0</b>	1位
2位	東京	1,089.0	埼玉	945.0	東京	985.5	東京	909.0	東京	1,001.0	東京	995.5	東京	976.5	東京	1,008.5	2位
3位	大阪	909.0	大阪	901.5	兵庫	910.5	兵庫	848.5	大阪	863.5	愛知	852.5	<b>岐阜</b>	<b>958.5</b>	愛知	931.0	3位
4位	兵庫	900.0	東京	842.5	埼玉	856.0	埼玉	829.5	神奈川	782.5	神奈川	836.0	大阪	924.0	埼玉	899.5	4位
5位	埼玉	839.5	愛知	781.5	大阪	804.5	大阪	788.0	千葉	760.0	兵庫	832.5	愛知	846.5	福岡	737.5	5位
6位	京都	761.0	神奈川	731.5	神奈川	722.0	神奈川	758.0	愛知	755.83	大阪	757.5	千葉	830.5	大阪	725.5	6位
7位	愛知	749.0	北海道	687.0	北海道	721.0	愛知	744.5	埼玉	746.0	北海道	757.0	北海道	752.5	千葉	722.0	7位
8位	北海道	744.5	岡山	654.0	京都	662.5	福岡	719.0	<b>岐阜</b>	<b>738.0</b>	京都	709.0	神奈川	741.0	兵庫	715.0	8位
9位	広島	690.0	熊本	652.5	<b>岐阜</b>	<b>644.5</b>	千葉	710.5	北海道	730.0	福岡	703.5	兵庫	715.0	京都	681.5	9位
10位	福岡	687.0	群馬	644.5	千葉	643.0	北海道	681.0	兵庫	696.0	広島	685.0	福岡	698.0	神奈川	680.0	10位
11位	千葉	634.0	千葉	644.5	福岡	630.0	<b>岐阜</b>	<b>672.0</b>	京都	645.0	埼玉	667.0	埼玉	675.5	北海道	675.5	11位
12位	<b>岐阜</b>	<b>629.0</b>	大分	627.0	愛知	621.5	岡山	663.0	大分	640.5	<b>岐阜</b>	<b>661.5</b>	広島	646.0	熊本	615.5	12位
13位	鹿児島	619.0	広島	625.5	宮城	620.0	京都	650.0	広島	629.0	熊本	631.0	岡山	635.0	静岡	604.5	13位
14位	宮城	597.0	長野	622.5	石川	605.0	広島	633.0	岡山	619.0	岡山	616.5	京都	589.0	岡山	578.5	14位
15位	群馬	584.0	<b>岐阜</b>	<b>607.5</b>	大分	595.5	新潟	620.5	群馬	597.0	山口	613.5	静岡	563.5	山口	571.5	15位
16位	静岡	577.5	福岡	584.5	静岡	584.0	宮城	613.0	長野	574.0	静岡	600.5	大分	540.5	群馬	565.5	16位
17位	香川	560.5	秋田	580.0	熊本	580.0	長野	596.5	宮城	563.0	長野	584.0	愛媛	540.0	長野	565.0	17位
18位	大分	542.5	京都	578.0	群馬	571.0	群馬	540.0	静岡	559.0	群馬	543.0	長崎	532.0	広島	562.0	18位
19位	熊本	538.0	香川	546.0	広島	570.0	山梨	539.0	熊本	541.5	石川	539.0	山梨	531.0	栃木	546.0	19位
20位	神奈川	533.5	宮城	536.5	福島	546.0	茨城	538.5	山口	526.5	富山	530.5	石川	511.0	大分	536.0	20位
21位	富山	531.0	富山	519.5	滋賀	520.5	静岡	531.5	山梨	525.0	香川	524.5	長野	507.5	新潟	520.5	21位
22位	長崎	525.5	山形	518.0	岡山	520.5	香川	530.5	茨城	524.33	大分	523.5	栃木	498.0	福井	512.0	22位
23位	石川	520.5	三重	512.0	長崎	507.5	熊本	530.5	長崎	523.33	山形	519.5	福井	496.0	長崎	510.5	23位
24位	山形	507.0	静岡	501.0	長野	502.5	鹿児島	527.0	山形	523.0	新潟	517.5	宮城	494.5	石川	488.5	24位
25位	福島	488.5	福井	494.0	栃木	491.5	秋田	520.0	福岡	522.5	宮城	507.5	群馬	492.5	香川	486.5	25位

(3) ぎふ清流国体 岐阜県選手団の競技別男女総合成績

	H24 岐阜国体		備考
	総得点	順位	H23山口国体順位 (冬季は青森・秋田)
ホッケー	246	1位	1位
フェンシング	115	1位	1位
レスリング	73	1位	2位
自転車	73	1位	2位
馬術	97.5	1位	4位
卓球	83.5	1位	6位
空手道	108	1位	9位
カヌー	149	1位	11位
陸上	108	1位	13位
バスケットボール	102.5	1位	13位
ハンドボール	75	1位	15位
サッカー	78	1位	18位
剣道	126.5	1位	24位
セーリング	80	2位	3位
ボート	175	2位	4位
ライフル射撃	69	2位	4位
体操	89	2位	9位
なぎなた	55	2位	21位
ソフトボール	106	2位	23位
パドミントン	56.5	3位	7位
ボクシング	47	4位	5位
ゴルフ	34	4位	17位
アーチェリー	43	4位	22位
バレーボール	52.5	4位	23位
山岳	85	5位	4位
スキー	105	5位	7位
軟式野球	42	5位	9位
ラグビーフットボール	54	5位	13位
スケート	106	6位	10位
ウェイトリフティング	63	6位	34位
ソフトテニス	45	7位	11位
相撲	28	7位	12位
テニス	31	9位	22位
水泳	109.5	10位	21位
ボウリング	41	11位	4位
アイスホッケー	10	11位	10位
銃剣道	19	11位	14位
柔道	25	14位	14位
クレー射撃	10	14位	15位
弓道	13	29位	3位
合計	3028.5		

○ぎふ清流大会 岐阜県選手団

・全国障害者スポーツ大会が開催されて以降、岐阜県として最大のメダル数を獲得。

(1) ぎふ清流大会 メダル獲得数

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
	第1回 宮城	第2回 高知	第3回 静岡	第4回 埼玉	第5回 岡山	第6回 兵庫	第7回 秋田	第8回 大分	第9回 新潟	第10回 千葉	第11回 山口	第12回 岐阜
個人	63	44	49	46	48	38	39	35	42	40	64	182
団体		1	2	2	2	1		1			3	2
合計	63	45	51	48	50	39	39	36	42	40	67	184



### 3. 東日本復興支援・日本再生に繋がる取り組み

#### (1) 東日本大震災被災地選手支援募金の寄附

- ・ ぎふ清流国体冬季大会      被災3県に各300万円
- ・ ぎふ清流国体本大会      } 被災3県に各2000万円、仙台市に150万円
- ぎふ清流大会            }

#### (2) 開会式・閉会式

##### ○炬火台は鳳凰をイメージしたデザイン

- ・ 鳳凰と火（炬火）の組合せで、復活のシンボル「火の鳥」を連想させ、「震災からの復興」「日本再生」のメッセージを配信。

##### ○日本再生に向けた応援行進曲を使用

- ・ 県内全41競技団体にアンケート調査し、上位3曲を「日本再生応援行進曲」として使用。

##### ○復興支援・東北製品の販売ブースを設置

- ・ 福島県楡葉町の郷土料理「マミーすいとん」を販売し、売上げの一部を義援金として寄附。

#### (3) 被災3県への映像配信

- 被災地選手の活躍の様子を被災地のCATVやインターネットで放送。

#### (4) 被災3県のチーム・選手の招聘

##### ○被災地選手の練習場所の提供

- ・ 被災地から、9競技162人の選手を招き、交流試合等を実施する経費を支援。

#### 4. 両大会に関する主な緊急事案・要望事案への対応

##### ○主な事案への対応

- ・ 国体の開会式において、会場内の限定撮影台から報道員が誤ってカメラを落下させ、下の観覧席にいた観客の頭に当たり、救急搬送。
  - ⇒ 限定撮影台周辺の客席の撤去、落下防止用のネット及び板の設置、限定撮影台を中心部分のみ利用、会議や注意喚起文書の掲示により、再発の防止対策を実施。
  
- ・ 国体の開会式において、県が委託した事業において、当該受託者の業務員が他人のＩＤカードを所持し、会場内において撮影。
  - ⇒ 清流大会の開会式では、委託事業者も本人確認をしてから入場させるように取扱いを変更して対応。
  
- ・ サッカー競技に出場する他県の複数の成年選手が下痢や嘔吐の症状を有する患者が発生。
  - ⇒ 該当者を宿泊施設の別室（個室）に移すとともに、県関係課に情報を提供し、該当者が利用した宿泊施設やバスの消毒の徹底を指導。
  
- ・ 新聞社が独自の取組として、県内の宿泊施設に新聞の無料配布を実施していたところ、県外に宿泊する他県体育協会から、県外の宿泊施設にも無料配布してほしい旨の要望。
  - ⇒ 県内の宿泊施設と同様に、県外の宿泊施設にも新聞が届くように対応。
  
- ・ 国体の水泳競技期間中、ＪＲを利用する観覧者から駅員に対し、早朝から多数の問い合わせがあるため、ＪＲ岐阜駅から対応してほしい旨の要望。
  - ⇒ 翌日以降、駅案内所の開設時間を早めて対応。（９時開設⇒５時開設）

## 5. 障がい者への配慮

### ○主な事案

- ・陸上競技会場に設置した仮設トイレに音声案内をするセンサーを付けたことは大変喜ばれた。しかしながら、車イスで利用される時は、高さが足りず、センサーが反応しなかった。

⇒センサーを増設することで対応したが、当初から車イスで利用されることも想定すべきであり、障がい者の目線に立つことが必要。

- ・会場に入る際にセキュリティのため、入退場ゲートの制限を設けることは、目的地まで遠回りしなければならず、障がい者にとって負担が大きい。
- ・床に這わせた電気コードに足を引っかけないようにガムテープで貼ったが、足の不自由な方にとっては、かえって歩きにくいということも分かった。

⇒健常者には些細なことでも障がい者にとっては大きなこともあるため、バリアフリーの観点から障がい者の意見を聞くことが必要。

- ・ミナモ広場の各店舗には、筆談ができる店舗を表す案内マークを設置し、聴覚障がい者の店舗利用に配慮。
- ・案内所や受付に『筆談ソフトを備えた iPad』を配置し、聴覚障がい者の要請に応えることができた。

⇒聴覚障がい者への対応として、IT機器の活用が有効であることを改めて認識した。

- ・臨時列車による輸送を実施したが、駅構内に障がい者用トイレが少ないため、待ち時間が長くなった。

⇒仮設トイレを設置し、対応した。

- ・選手からは、「控え室に仕切りがあり、プライベートが確保されて良かった。」  
「ウォーミングアップ場なども充実しており、良い状態で試合に臨めた。」  
「アレルギーのため眼科に行きたいとお願いしたところ、選手団班の県職員が近くの眼科へ連れて行ってきて嬉しかった」などの声もあった。